



発行第4号
2019年
1月15日

<発行>
社会福祉法人
三原のぞみの会
〒723-0046
広島県三原市

明神3-16-20

<連絡先>
0848-38-1875

<理念> 一人一人の幸せを基本とし、質の高い福祉サービスをめざす
<方針> 地域社会に貢献できる福祉
共に育ち、共に働き、共に楽しみ、共に生きる
笑顔のある地域社会づくり

新年あけましておめでとうございます。
平成31年(2019年)が明け、5月からは新しい元号の年が始まります。世界の情勢を見ても混沌として、どのように動いていくのか見通しにくい状況です。今年はきっと大きな節目の年となるような気がします。



▲安棟理事長

当法人にとりましては、4月に法人合併を控え、同時に障害者支援施設(入所)を開始します。必ず成功させなければならぬと意気込んでおります。

法人設立当初からの夢である『ゆりかごから墓場まで』の福祉事業を、三原の地で進めている形は整いました。これから、その内容の充実を図り、着実に進めていかなければならないと思います。時代と共に福祉に対する見方・考え方も変化しています。ただ漫然と事業を進めるだけではいけないと思います。変化する情報をつかんで、

日々変化させていく意欲を常に持っていたいものだと思います。教育・医療はもちろん、政治・経済・宗教等あらゆる分野と福祉は協働していかなければならない時代になっています。そして、その中心として、それぞれの分野の基本である理念を訴え、影響を与えていかなければならないと思います。平和、人権擁護、平等など、慈しみをもちて協働していききたいものです。

新年あけまして
おめでとうございます



こま回し・書初め
たこあげ・しめ縄飾り
各事業部門でお正月を
迎えました

本年もよろしくお願
いいたします



■保育事業部門

おもちゃつき

紅梅認定こども園と、児童発達支援事業所こようばいで、十二月におもちゃつきをしました。年長児が杵でおもちをつき、みんなで丸めました。つきたてのおもちを、きなこもちにして味わいました。



おいしいね〜!!

おいしい
おいしい



オープニングで、園児の歌や踊り、職員の本鼓を演奏しました。

子どももおとなも楽しめる保護者会バザー
こども園の子どもたちと地域の方が参加して、盛大なバザーになりました。

年賀状づくり

年賀状で、友だちと新年のあいさつをするために、自分たちで年賀状を作って送りました。お正月には、みんなの家に素敵な年賀状が届きました。



スタッフ
きれいに押せるかな?



アイデアや工夫が
たくさん!

おだちのところへ
届きますように!!



年長児のどんぐんやさん



■障害事業部門

各事業所から

【三原きぼう作業所】生活介護の利用者の方々は、施設外活動として『福山ファミリアパーク』へ出かけ、就労継続支援B型の利用者の方々は社会見学旅行として、岡山県の『後楽園』へ出かけました。みなさん普段とは違う環境をとっても楽しんでおられました。



【障害福祉サービス事業所ぴーす】

10月に社会見学旅行として、福山の『エフピコ』に工場見学へ行きました。



●障害者支援施設(入所)が開始します。

法人合併に伴い、障害者支援施設『泉の里』が開所する運びとなりました。現在は、4月の開所に向けて改修工事が行われています。泉の里では、主に夜間において、入浴、排せつ、食事などの介護、生活などに関する相談・助言のほか、必要な日常生活上の支援を行います。今までの日中活動と合わせることで、障害のある方の日常生活を一体的に支援していきます。



障害者支援施設 泉の里

【チューリップ】12月に田野浦幼稚園の園児さんを招待して、障害福祉サービス事業所ぴーすと合同で『もちつき』をしました。

新商品としてオリジナルの『ピーストラップ』を販売しています。



園児さんの元気な『よいしょ〜』という声が響き渡りました。

■介護事業部門

●きぼう居宅介護支援事業所

居宅介護支援（ケアマネジメメント）とは、介護を必要としている人が適切な生活支援を受けられるよう、各種介護サービスに関する手続きを代行してくれるサービスです。

要介護1～5の認定を受けている人がサービスの対象で、利用者は介護支援についての知識が豊富な介護支援専門員（ケアマネジャー）に相談し、本人の希望や環境に合わせたケアプランを決定していきます。また、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所との連絡・調整などを行います。

現在、事業所には3人のケアマネジャーがいます。担当の利用者様のご自宅を毎月訪問し、来月のサービスの予定の確認・調整、利用料金の説明などを行っています。

その際に、ご本人にお変わりがないか、計画したサービスが問題なく利用でき

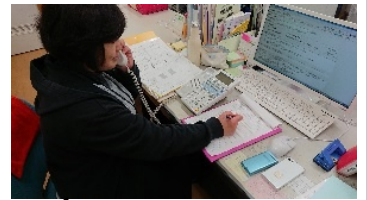
ているかなども含めて、確認していきます。その中で新たな課題が出ていれば、関わっている事業所と情報を共有し、対応方法について考えたり、必要なサービスなどを検討したりします。

そして、サービスを利用する際や変更になる際には、基本的にサービス担当者会議（カンファレンス）を開催します。サービス担当者会議とは、ご本人やご家族利用しているサービス事業所の職員さんなど、関係機関の様々な職種の方々が集まり、ご本人のサービス利用や支援方法等について、情報共有し検討する会議です。



カンファレンスの様子

ご本人や関係機関とのやりとりがあれば、記録にまとめ、書類を作成します。



サービス調整中



一日の記録打ち込み中

ご本人やご家族と顔を合わせ、直接関われる時間が少しでも多く持てるように、これからも努力していきます。

また、要介護認定を受けられていない方は、認定申請のお手伝いもさせていただきます。

●発達支援事業部門

●さつまいも掘り

♪いもほれほーれホーレホーレの歌のように、おいしいお芋が、今年もたくさん取れました。クッキングには大きいお芋、焼き芋には小さいお芋を使います。



●親子クッキング

大きなお芋で芋もちを作って食べました。大好きなお母さんと一緒に協力して作りました。



●焼き芋

掘ってきたお芋を、1ヶ月大事に眠らせて、焼き芋を作りました。タライの中に、少しあたたかいお湯を張って、お芋をお風呂に入れてあげました。そして、やさしく洗って、アルミの洋服を着せてあげて、職員手作りの煉瓦のかまどの中に、一つひとつのお芋を大切に並べて、「おいしくなあれ・・・」と魔法をかけました。熱々のお芋、とてもおいしかったです。

●公開療育（11月28日）

今年度は、広島県東部幼児通園療育機関協議会（略称 幼通協）公開療育を「子ども発達支援センターのぞみ」で行いました。

午前中は、福山、尾道、府中の発達支援に関わる事業所の方々に療育を見ていただきました。

午後からは、グループワークを行い、職員同士の意見交換をしました。



たくさんの方のアドバイスをいただき、職員一同多くの学びを得ました。公開療育は、その日の緊張感もありますが、それまでのミーティングや準備が、とても大変です。ここ一番のチームワークで大きい行事を終えることが出来ました！

新人職員 フォローアップ研修

今年の春に入職し、すぐの4月には法人理念やマナー研修、事業所見学と新人職員研修を行いました。そして半年後の10月30日フォローアップ研修と題して再度集まり、半年間を振り返りました。

グループワークを中心に研修会を進め、話してみると同じ悩みを抱えていたり、頑張っている話を聞けたりと会話が弾んでいました。

『同期・仲間』って良いなーと感じた研修会となりました。



社会福祉法人 三原のぞみの会

「一人一人の幸せを基本とし、質の高い福祉サービスをめざす」

〒723-0046 三原市明神3丁目16-20

TEL : 0848-38-1875 FAX : 0848-38-1876

ホームページ : <http://www.mihara-nozomi.jp/>

■保育事業部門 ☎ 0848-62-7039

- ・紅梅認定こども園
- ・児童発達支援事業所こうばい ☎ 0848-36-5578

■障害事業部門 ☎ 0848-63-4563

- ・三原きぼう作業所
- ・きぼうホーム
- ・きぼう相談支援事業所
- ・チューリップ ☎ 0848-64-7407
- ・障害福祉サービス事業所ぴーす ☎ 0848-38-1866

■介護事業部門(きぼう介護センター) ☎ 0848-36-6145

- ・デイサービスきぼう
- ・きぼう訪問介護事業所
- ・きぼう居宅介護支援事業所
- ・三原きぼう作業所福祉用具貸与・販売事業所

■発達支援事業部門 ☎ 0848-29-7800

- ・こども発達支援センターのぞみ
- ・のぞみ相談支援事業所
- ・のぞみ日中一時支援事業所